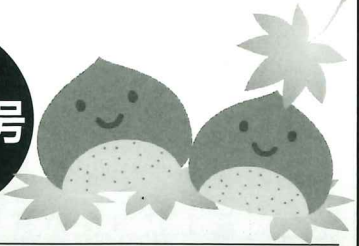


～環境に優しく、災害に強いLPガス～

令和6年10月発行

# 協会だより

第527号



一般社団法人 **富山県エルピーガス協会**  
〒930-0004 富山市桜橋通り6-13(フコク生命第一ビル4F)

TEL: 076-441-6993  
FAX: 076-441-6996

[ホームページ](#)

[富山県エルピーガス協会](#)

[検索](#)

## 第3回理事会が開催されました

7月19日(金)午後2時から高志会館2階カルチャーホールにおいて、理事22名、監事2名の出席により理事会が開催されました。

東狐会長の挨拶の後、承認事項が審議されました。

・正会員入会の承認について、事務局長が資料に基づき、(株)エネリア富山の申込書を説明しました。入会予定の富山南支部支部長の吉田信三理事からも当該事業者について説明がありました。

・災害引当金規程の承認について、専務理事が、能登半島地震による被害事業者への支払い詳細を報告するとともに、規定について説明しました。規定は、今回の地震に対し各県協会等から寄せられた災害支援金を原資として将来発生する自然災害時において県内外での見舞金支給のほか、復旧・復興などに資する事業にあてるための引当金を設置するもので、支出できる項目や手続きについて定めたものです。

・旅費規程の改正について、専務理事が資料に基づき、代表理事、業務執行理事会に支給される旅費を理事会旅費に一元化する規程を説明しました。

それぞれ事項について、議長が議場に質問を確認後、議場に承認の有無を求め、いずれも拍手多数をもって承認されました。

引き続き、報告事項について事務局から説明しました。その概要は、次の通り

です。

・「県総合防災訓練」「高圧ガス移動防災訓練」「中核充填所災害時総合稼働訓練」について、概要を説明しました。

・「LPガス安心サポート推進運動」については、重点項目は目標値に達成していないが、累計設置率は上がっていた。ただし、業務用施設のガス警報器連動遮断の設置率が、昨年度上期77%から、年度末70%に落ちており、「連動の重要性」を保安講習会での題目とする説明をしました。また、保安講習会の会場では、ガス検知器とCO検知器の無料点検を実施するが、これは機器診断であり、校正点検ではない旨、説明しました。

・商慣行是正に向けた制度改正に関して、来年4月施行の「三都料金制」において、請求書の記載にあたっては「設備料金が無い場合は、『該当なし』または『0円』と記載しなければならぬ」と。また、一部の会員には「基本料金を含んだガス漏れ警報器の貸与料金を設備費用に『外出し』しなくてはならないかもしれない」とお伝えしていたが、「その内容の説明や負担方法に合意があった場合には、ガス料金に含めて請求する場合」が認められている。この2つは取引適正化指針の改正で記述されている。また、通報フォームを利用することも検討いただいた。この説明をしました。

このほか、「とやま省エネ家電購入応援キャンペーン」が7月で終了するこ

と、高圧ガス国家試験については、11月10日(日)に富山大学で開催すること、10月の理事会は10月29日に開催することの報告をしました。

## 富山県議会議員に対し、富山県の来年度予算に向けての要望活動をしました

9月30日(月)富山県議会議事堂において、自由民主党富山県支部連合会政務調査会5部会が開催され、そのうち、企画財務部会に東狐会長が出席され、富山県の来年度予算に向けて要望事項を説明されました。企画財務部会では、川上部長をはじめ、6名の県議会議員が出席し、熱心に説明を聞いていただきました。東狐会長からは、LPガスは、国土強靱化計画においても「災害に備えて確保すべきエネルギー」とされており、自律分散型で災害に強く、環境にも優しいエネルギーであるLPガスの導入を促進すべきこと、また、本県の学校体育館の冷房化率が、全国的に見ても低いことを説明し、次の点を要望し、特に学校体育館の空調整備について詳しく説明しました。

①県庁舎をはじめ行政機関庁舎、公共施設などにおけるエネルギーベストミックスの推進

②小中学校、高校における電源自立型GHPの導入、特に、学校体育館へのLPガス災害バルクの設置促進

③上記に対する国の支援措置の運用改善と予算確保

出席議員からは、「学校体育館の空調整備は、喫緊の課題であり実現に努力する」との発言がありました。また、これに先立ち9月10日に、県議

### 中核充填所災害時総合稼働訓練を実施しました

石油の備蓄確保等に関する法律の改正により平成26年2月13日中核充填所の指定を受けました。それ以降、毎年富山県の協力のもと中核充填所で「中核充填所災害時総合稼働訓練」を実施しています。今年度は株式会社丸八魚津充填所で訓練を実施しました。

今年度の訓練は魚津警察署及び魚津消防署にご協力をいただき、火災の発生を仮定とした大規模な訓練としました。関係来賓者や当協会の中核充てん所等委員やLPガス一般充填所をはじめとした会員のほか、地元自治会長には来賓として、加えて地元の方にも見学いただきました。例年のように訓練の様相を録画しておりますので、何らかの形で会員みなさまに提供し、保安教育に役立てていただけるようにします。

訓練想定として、呉羽山断層帯の活動により震度6、マグニチュード7.4の地震が発生。富山県全域及び石川県能登沿岸地域に家屋の倒壊、土砂崩れ、堤防の決壊及び道路の寸断が発生し、また、ライフラインにも甚大な被害が発生した。県内4ヶ所の中核充填所も、充填設備等が損傷しガス漏洩等の被害を受け、富山県及び富山県エルピーガス協会において、災害対策本部が設置された。

広範囲にわたり停電する中で、避難所をはじめとして一般消費者へLPガスを供給するため、中核充填所と周辺の充填所及びLPガス事業者が協力し、地域一体となって連携を行う訓練としました。

内容は、地震が起きた直後の設備の緊急遮断弁や電源ブレーカーの閉止による作業中断による安全確保に続き、配送車やローリー車の「避難誘導訓練」、停電後の「非常用LPガス発電設備の稼働訓練」、なんらかの原因でのガス漏れから火災発生にかかる「消火訓練」を消防や警察の協力で実施し、県や協会へ被害状況報告や各中核充填所が協会に被害状況報告を行い、充填可能な充填所の確認を行う「情報伝達訓練」を実施しました。その後、他社所有容器に登録なしで充填できる共通バーコード容器への「共通バーコード対応充填訓練」を実施し、そのほか「避難所での災害対応機器」を展示し、見学いただきました。株式会社丸八は魚津市と災害時における緊急燃料と飲料水の供給に関する協定を結んでおり、災害時には公共施設や避難所にLPガス、灯油、燃焼機器、飲料水、ウォーターサーバーなどを供給します。その他に充填所に配備しているポータブルLPガス発電機、LEDバルーン照明器、仮設供給機器なども展示し、見学いただきました。今年元日に能登半島地震が発生したことから見学者には興味深く見学いただきました。今後も災害に強いLPガスのPRと中核充填所の周知を推進いたします。

訓練日時 令和6年9月4日(水)午後2時～  
訓練会場 株式会社 丸八 魚津充填所  
魚津市北鬼江364  
主催 (一社)富山県エルピーガス協会  
協力 富山県、魚津警察署、魚津消防署  
訓練参加者 富山県、魚津警察署、魚津消防署、  
丸八、北日本物産㈱、  
㈱テルサウエイズ、サカキ産業㈱  
(一社)富山県エルピーガス協会  
訓練見学者 約100名



ふれあいサポート運動の感想をお寄せいただきました  
小矢部市のOさんご夫妻  
私は、この家に引っ越してきてから17年間、引っ越し前から加えると、山本実燃料店とは50年を超える「お付き合い」があります。  
社長は、とても親切で、ガスに限らず、色々な「困りごと」について、何かあったら連絡すると、すぐに来ていただけます。とても、ありがたく、頼りにしています。  
今日も、ガスの調理器具だけでなく、ガスボンベ周辺も、しっかりと見ていただいて、これで、安心して使えます。  
主人は晩酌が好きで、特に焼き魚が好き。ガスは、「火加減を炎の大きさで見ながら料理ができるので、おいしい料理を楽しく作れます。楽しくない、料理から遠ざかると聞きます。その点、ガスは、とても楽しく、重宝しています。

ふれあいサポート運動の感想をお寄せいただきました  
小矢部市のOさんご夫妻  
当協会では、平成17年度から「ふれあいサポート運動」を展開しています。この運動は、県内のLPガスを利用する高齢者宅等を訪問し、LPガスに関する相談や、ガス器具の安全点検を通じて、お客様の安全を確保しようとするものです。また、高齢化が進行している現状を踏まえ、LPガス業界の販売店は、この事業のほかに定期訪問「見守り」としての役割も担っています。  
今年度は、7月25日(日)10時頃、山本実燃料店の協力で、小矢部市において、ふれあいサポート運動の報道公開が行われました。現場には、地元新聞社をはじめ業界紙が訪れ、協会の行う社会貢献事業を取材しました。協会では、今年度も、6,000件の訪問を目指しています。会員の皆様のご協力をお願いします。

### 経営者・管理者講演会が開催されました



政務調査会長、企画財務部会長に説明する東狐会長

令和6年7月8日、消費者の保安の確保を図るためには、経営者等の意識向上も重要であることから、事業者の経営者・管理者を対象に、経営の基本方針としての法令順守やガス機器による事故防止対策などの課題について経営者・管理者講演会を開催いたしました。  
東狐会長、辻井秀幸富山県危機管理事務局参事消防課長の挨拶の後、はじめに、エヌ・ティ・ティテレコム株式会社社長室トータルソリューション強化タスクフォースの北澤憲太氏から「テレコムビジネスプラットフォームが実現するガス業界の問題解決と価値創造」と題して、収益を生まないコミュニケーションから収益を生むコミュニケーションへシフトし、DXでコスト以上

の効果を創出し、人が抱うべき仕事に稼働と時間を注ぐこと、そして新たなビジネススタイルの確立により更に魅力のある地域密着企業へ変革する「LPガス事業者の、未来のカタチ」をご講演いただき、問題解決による価値創造を学びました。  
休憩後には損害保険ジャパン株式会社富山支店の山下真由氏から、今年からの制度改定と保険料の変更について、ご説明をいただきました。  
次の講演は、「自然災害と安全機器」と題し、一般社団法人日本エルピーガス供給機器工業会北陸地区会長である株式会社桂精機製作所北陸営業所所長の加美川雄太氏に講演いただきました。今年元日に起きた能登半島地震では富山県内にも大きな被害を及ぼしました。日頃からガス事業者として自然災害に備えた安全機器の設置推進を怠ってはいけません。容器の転倒防止対策をはじめ、ガス放出防止型高圧ホース、ガス放出防止器、逆止弁付根元バルブ、折損式と張力式があるガス放出防止型単段式調整器、そしてマイコンガスメーターや対震自動ガス遮断装置などについてわかりやすく説明いただきました。  
また、配管用フレキ管は可とう性があり地震等の揺れでも折れにくいこと、他地方で用いられている容器プロテクターやその上に取り付ける保護器によって落雪や落下物からも容器バルブの破損を防ぐことを説明いただきました。また、自然災害対策として「設備の耐震性を向上させること」「安全器具を設置すること」、そして「災害はいつでもどこでもやってくる」が「備えあれば憂いなし」を学びました。

8月23日(金)30日にかけて、県内4会場で230事業所316人の参加を得て、LPガス保安講習会を開催しました。  
本年度も富山県の後援を受け、消防課方ス火災保安係 村澤係長(28日)田中技師(23日・26日・30日)から、LPガスの現状として事故発生状況、法令改正・保安行政の動向、立入検査結果による指摘事項、販売事業報告書の記載方法、県への電子申請可能な液石法の手続き等について説明を受けました。  
ガス警報器工業会から増田功氏(23日)西隈祐輝氏(26日)長田敦夫氏(28日)石黒正樹氏(30日)を講師としてお招きし、現在推進中のLPガス安心サポート推進運動の項目で当協会が重点項目としている業務用厨房施設へのCO警報器の設置推進と業務用施設へのSBメーター設置先におけるガス警報器連動推進について説明を受けました。CO中毒事故やLPガス事故の発生状況と、近年のいくつかの事故例を詳しく説明いただき、CO警報器やSBメーターと警報器の連動の重要性・必要性も認識いたしました。実際のCO警報器の音声アラームの音を聞き、ガス警報器連動によるメーター遮断を映像で確認いたしました。設置推進率が横ばいのこの2つの項目に関して、設置推進の重要性を再認識した講習でした。  
当協会からはLPガス安心サポート推進運動の昨年度末の進捗状況説明のほか、毎年報告いただいている「燃焼器具交換・安全機器普及状況等調査報告書」で記入する「業務用厨房施設数」と「業務用施設の内、SB・EBメーター設置戸数」について細かく説明いたしました。

### LPガス保安講習会が開催されました

講習会に併せ、新コスモス電機様、理研計器様のご厚意により、LPガス用ガス検知器、CO検知器の無料診断も実施しました。

月日	会場	出席事業所数	出席者数(名)
8月23日(金)	ア・ミューホール	38	47
8月26日(月)	富山県高岡文化ホール	87	118
8月28日(水)	新川文化ホール	43	58
8月30日(金)	高志会館	62	93
合計		230	316



出前エルピーガス協会が開催されました

令和6年度婦人会/女性向け防災学習会として、7月28日に入善町消防防災センターで開催された入善町連合婦人会横山地区婦人会主催で入善女性団体連絡会共催の講習会に講師を派遣しました。

入善町総務課消防防災防犯係主任齋田譲氏の「町の防災の取組について」、防災士今井柳子氏・杉田美雪氏の「女性の目で防災まちづくり」、富山県防災士会の「防災ゲーム等の講演に加えて、川東事務局長が「LPガスの安全対策について」講演をいたしました。Siセンサーコンロの安全装置、ヒューズガス栓などの仕組みについて述べ、ガス利用時の災害対策を説明しました。さらにガス放出防止型高圧ホースにより災害時のガス遮断や容器流失に備えて容器の二重掛けなどのガス事業者が推進している災害対策にも触れました。また、元日に発生した能登半島地震では多くのガスメーターでの遮断があり、ガス漏れ事故を防いだことやお客様自身で出来るメーター復帰方法を説明いたしました。この学習会ではオール電化住宅の方の出席者が半数近くおりましたが、災害対策においては自立分散型のエネルギーであるLPガスの強みを改めて強調できたと考えています。

今後とも消費者団体や地域の学習グループの研修や会合に講師を派遣したいと考えています。



富山県総合防災訓練へ参加しました

今年の総合防災訓練は、9月29日(日)、黒部市総合公園をメイン会場に、黒部市、入善町、朝日町のほか富山空港、伏木富山港などで行われました。

今回は、能登半島地震後の初めての訓練ということもあり、多くの県民が訪れ、防災意識の啓発が図られました。

当協会からも、黒部支部が「LPガス安全機器展示」に参加し、ガス発電機や安全に関する様々な器具の働きなどを紹介し、来場者に「災害に強いLPガス」の特長を紹介しました。



新田知事に説明する東狐会長

Gラインからのお知らせ

Gラインとやまでは富山県独自のガス機器購入キャンペーンの「Gラインとやまガスラブキャンペーン」を開催中です。

景品は昨年までの内容から変更し、より多くの購入者へ感謝を還元できるように「JCBギフトカード」3,000円分を応募いただいた方から333名にプレゼントいたします。加盟店の皆様へ配布しました周知チラシをご利用いただき、年末までの機器販売にぜひご利用いただければと思います。また今年度は応募券での応募のほか、Gラインとやまが運営するECサイト「Gラインとやまオンラインショップ」からの注文にも対応した申込みが可能です。ご利用願います。なお、毎年「加盟店名」や記載事項の未記入や間違いがございます。ご記入を確認されご応募願います。



エネルギーの未来は、人と街の未来だと思おう

あなたの暮らしをささえるエネルギーをずっと、届けていきたい



富山営業所 富山市高木2000番地 Tel.076-436-6100  
高岡営業所 高岡市下伏間江508-5 Tel.0766-22-2978  
東部営業所 滑川市中川原73 Tel.076-475-0238

http://www.livic.jp/



もっと早く、火災を見つける。

従来の火災警報器に一酸化炭素(CO)センサをプラスして、火災をより早くおしらせ!



PLUSCO プラシオ CO 一酸化炭素検知機能付き 火災警報器 SC-745 SC-345

●住宅用防災警報器(特例基準:CO反応式)検定合格品  
●一般財団法人日本ガス機器検査協会検査合格品 ●日本製

新コスモス電機株式会社 www.new-cosmos.co.jp

詳細はこちら

